
R 18-
ADULT ONLY
軍人ゲットの
GUNNGINN MEITO NO
TADASII SITUKEKATA
正しい躾け方。


ここは
とある国の
とある貴族の
お屋敷
チュン
チュン
コン
コン
私はそこに
仕える
ごく普通の
おはよう
ございます
旦那様
ガチャ
それでは
御主人様
この屋敷での
メイドの勤めは
男メイドだ
ガシッ
本日も

御主人様の
おちんぽへの
目覚めの御挨拶
から始まる

むにゅ

お目覚めの
ご奉仕
失礼
致します

ぢゅるっ♡

まずは
陰嚢から

ちゅっ♡
ちゅっ♡

貴重な精子が
詰まっているので
最初に挨拶
するのがマナー

ちゅっ♡

それから
裏筋

ちゅぷっ♡
ちゅぷっ♡

先端に
向けて丹念に
接吻の雨を
降らせていく

れろ♡


その後口内を使用し
ご奉仕をさせて頂く
それがメイド
としての勤め
ちゅるる
ちゅぱ
敬意を表す
ためのマナー
勿論我慢汁も
全て吸い上げる
ちゅるるっ
有難い
御主人様
からの施しだ
親愛なる
御主人様への
すっ
ふむ…
この美尻を
見ながらの起床
幸福かな
今日も
絶景絶景


そうそう
むぎゅ
ぎゅ
……
目覚めは
尻を向けて
日の出ならぬ
日の尻が
素晴らしい
……
おはよう
ございます
むちぃ
旦那様
うむ
今日も
程良い弾力と
むちぃ
手に吸い付くような
触り心地


どれどれ
当然だ
ヒクッ♡
ヒクッ♡
アヌスも綺麗にしているな
関心関心
御主人様は気分野なので
いつでも使用できるよう
肛門も常に清潔にしておく
はい
勿論でございます
ちゅぱ
ちゅぱ
うちのメイドは本当に優秀だ
すり
すり
不潔な状態などご主人様への不敬だ
びくん…
……っ
お褒め頂き光栄でございます
ビュビュビュっ
だがな


愛嬌が足りない
もっとちんぽに媚びろ
どうも今朝は口内の気分の様だ
そう思うだろう
お前は俺に仕えられて幸せ
ひゃい
朝勃ちしたペニスを
御主人様
射精まで導き


御主人様
そして
射精の後は
最後に
くぱぁ♡
御主人様の
貴重な
子種を戴く
ドロォ…
確認を
よし
飲んで
いいぞ
ありがとう
ございます
吐き出すなど
言語道断
しっかりと
味わい
味による
わずかな
体調変化も
見逃さ
ない
おお
そう
だったな
ごくん



メイドとしての
起床の業務だ


その次は
朝食の時間
御主人様
本日の
珈琲豆は
トポポ…
●●国の物で
ございます
●●…
お前の
故郷では無いか
ええ
ですが
私には
この屋敷に
来る以前の記憶が
ありませんので…
そんな事より
御主人様
カチャ


珈琲に
ぷるん
ぷるん♥
ぷる♥
ミルクを
お入れします


ミルクの量は
どうされますか？
いつも
通りで頼む
●●国…
ぴくん♡


私の故郷だと言われる地…
シコッ
シコッ
くたっ
それなのにこの地名を聞くと
ふー…
ふー…
懐かしさより先に
胸の騒めきと不安を感じる
何か…
おい
今日は随分と勃ちが悪いじゃないか
……ッ
申し訳ございません…ッ
ビクッ
ビクッ
仕方ない
俺が手伝ってやろう


そんな…っ
御主人様のお手を煩わせるなんて…
メイドとしてあってはなりません
ビクッ
ズイッ
直ぐに出しますから…
ヌリュッ
悠長なことは言ってられん
朝は忙しい
俺は急いでいるんだ
ぬるぬる
まあっ♡
あっ♡
それにお前も
みち
こっちの方が良いだろう？

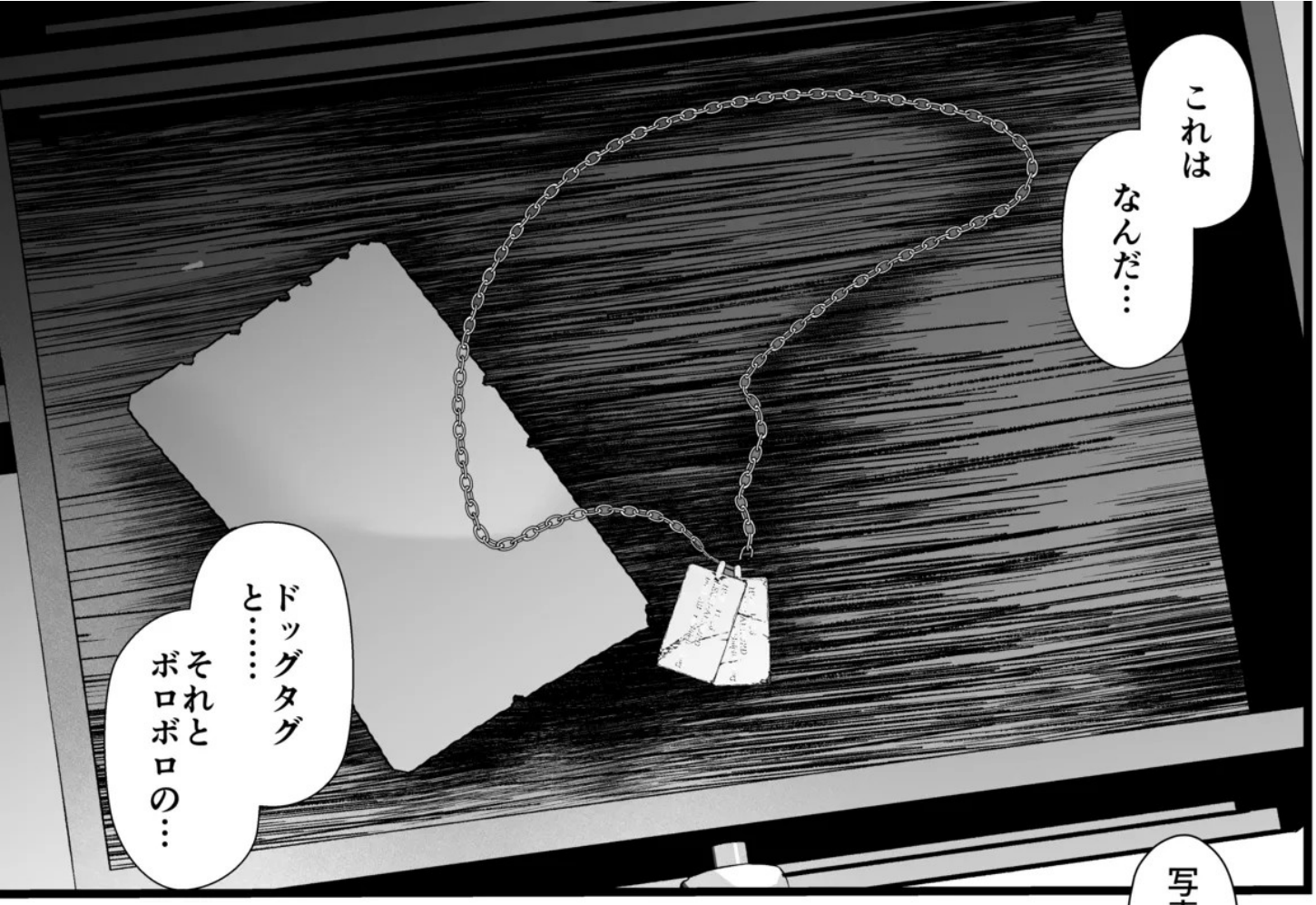

それにお前がより気持ちよく
射精した方が美味いミルクが出るからな
さあ
一石二鳥だろう
ご…ッ
ご主人様がそう仰られるなら…
ずぽっ
ずぽっ
ずぽっ
ぬぷ
ぬぷ
ぬぷ
はッ
はッ
しゃち
しゃち
しゃち
ぬぷ
思いっきり美味いミルクをひり出せ


ドロ


ご苦労
カタッ
うむ
今日も美味い
ズズ…
朝一番搾りはやはり格別だ


ご主人様は忙しい
それなのにお手を煩わせてしまった
最近どうも何かがおかしい
頭の片隅にへばり付いた
さて
これは一体……
カキャ
拭い切れない違和感
考えていても仕方ない
メイドとしての業務に戻らなければ
シャラッ


記憶を無くし
困っていた所
御主人様に
助けられ
御主人様は
とても慈悲深く
聡明でお優しい
お方だ
私には
勿体ない位の…
それからずっと
何年もの間
このお屋敷の
メイドとして
暮らしている
何だ…？
ガラ
この
引き出し
いつも
鍵が掛かって
居るのに…


これは
なんだ…
ドッグタグ
と……
それと
ボロボロの…


写真…？
誰のもの
なのだろう
ぴらっ

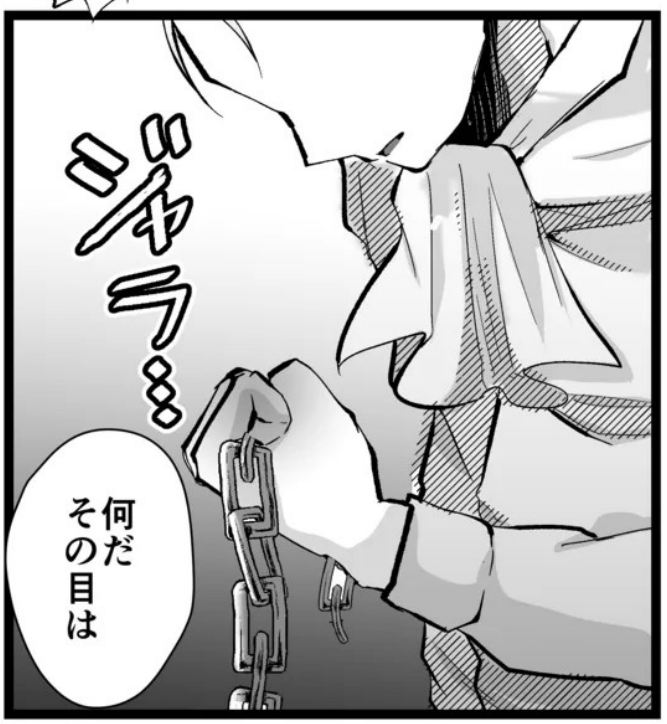

!?


…全て
全て
思い出した
俺はメイドなんか
じゃない

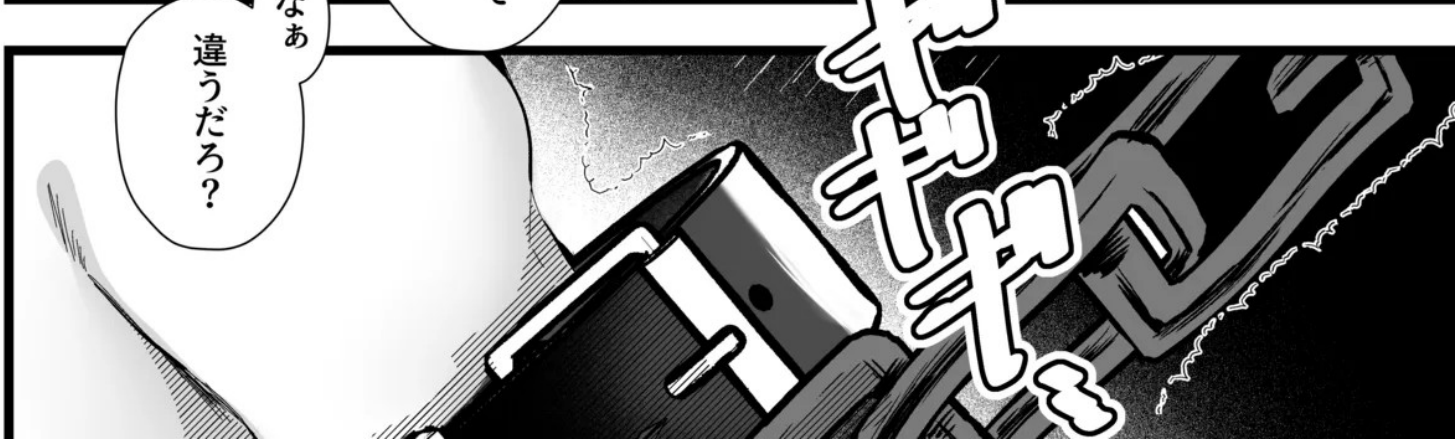

俺は
軍人として
この敵国に
送り込まれた
●●…
本国には
家族
かわいい
妻と娘が居る
劣勢の中
俺は
捕虜として
捕まり
群に莫大な
寄付をし
権力者である
こいつは
遊びとは
名ばかりの
拷問により
いたぶられ
続けていた
俺を……
おや


その様子
全てを
思い出した様だな


貴様…ッ！


ジャラ…
何だ
その目は


命の恩人且つ
大切な主人
である俺に
そんな目を向けて
良いのか？


なぁ
違うだろ？
ぎゅっ


寧ろ礼を言ってほしい位だ
ギギ
出会った頃のお前は
人形の様に反応がない
…何だと？
ギギ
玩具以下の肉の塊だったのに
今は見てみろ
鎖を引っ張られただけで
乳首を立たせる位のドスケベメイドとして
ぴくっ
ぷるんっ
……ッ
ぴくっ
暮らせるなんて幸せじゃないか

どうだ？
思い出せるんじゃないか？

その時の記憶も

曖昧で

霞む意識の中
覚えている




妻との交わりさえ
娘が生まれてから
していない
しかも
ショックにより
記憶と自我は曖昧
そんな
俺の身体に
何度も
快楽と共に
軍人とは違う
偽の
記憶を
こいつは
刻み込んだ
はッ
はぁ
はッ
はッ
ずぽ♡
ずぽ♡
ずぽ♡
ずぽ
ずぽ
ずぽ
はっ
はっ
はぁっ


お前は
俺に
忠誠を誓う
男メイド
だと
いやぁ
き…
殺すには
勿体ない
顔と
身体だろう？
気色悪い…
良い娯楽に
なったよ
そんな容姿の
優れた
妻子持ちの
敵群の軍人の
男が
御主人♡
と
ひれ伏す姿
実に素晴らし
かった
……ッ

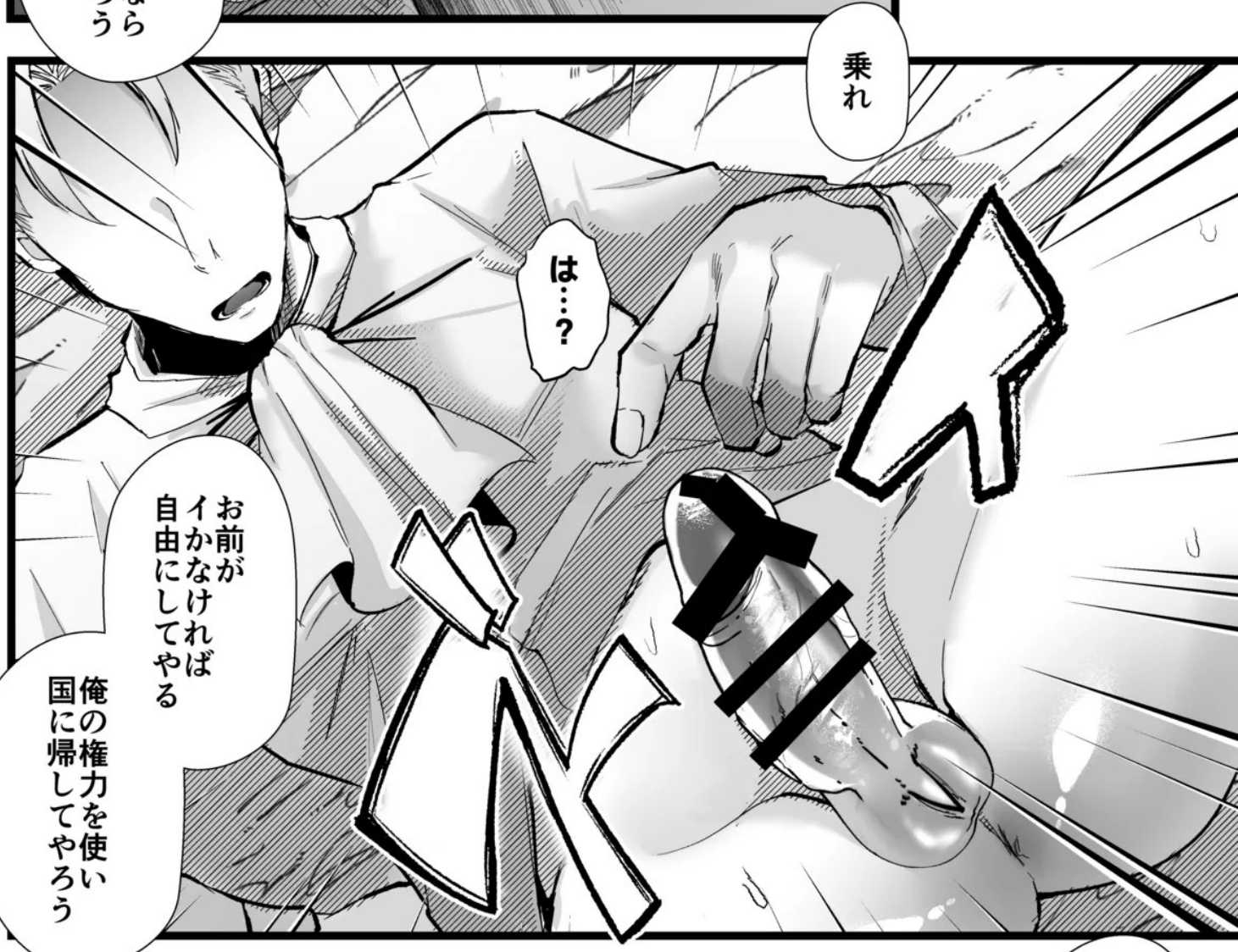

ギュルルルルル
ビクッ
こぎゅ
悪趣味にも
程があるぞ…ッ
俺を国に
帰せ……ッ
家族に
会わせろ…ッ
ぐぱっ
…お前
自分の立場が
本当に分かって
無い様だな
まあ
良い
最近洗脳も
溶けかけていて
どうにかせねばと
思っていた
所だ
すぅ
すぅ
ズルッ
寛大で
偉大
高貴な
御主人様が
ぶぶぶ


もう一度
お前に自分の立場を理解させて調教し直してやろう
な…
どうだ？
しゃぶりたくて仕方ない
や…
そんな…
はッ
やめ…
なんだ…？
身体が勝手に動いて…
こんな…
はッ


ははは
ははははッッ!!
こんな事
そう
だよなぁ！
したく
ないのに…っ
そう
なるよう
躾けて
来たんだから
ちんぽを
しゃぶる事は義務
出されたら
しゃぶる
それが
当たり前

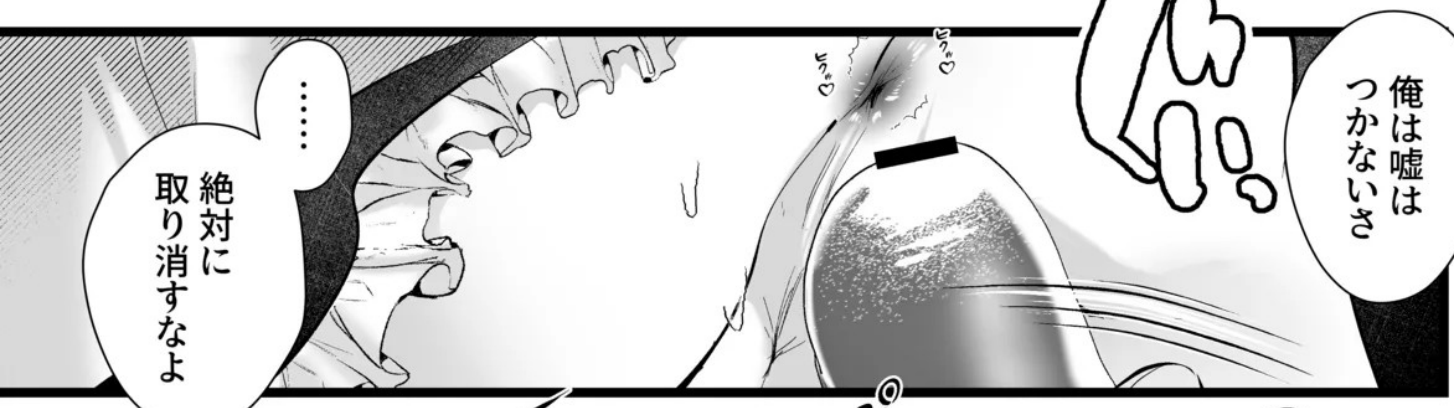

そうだ

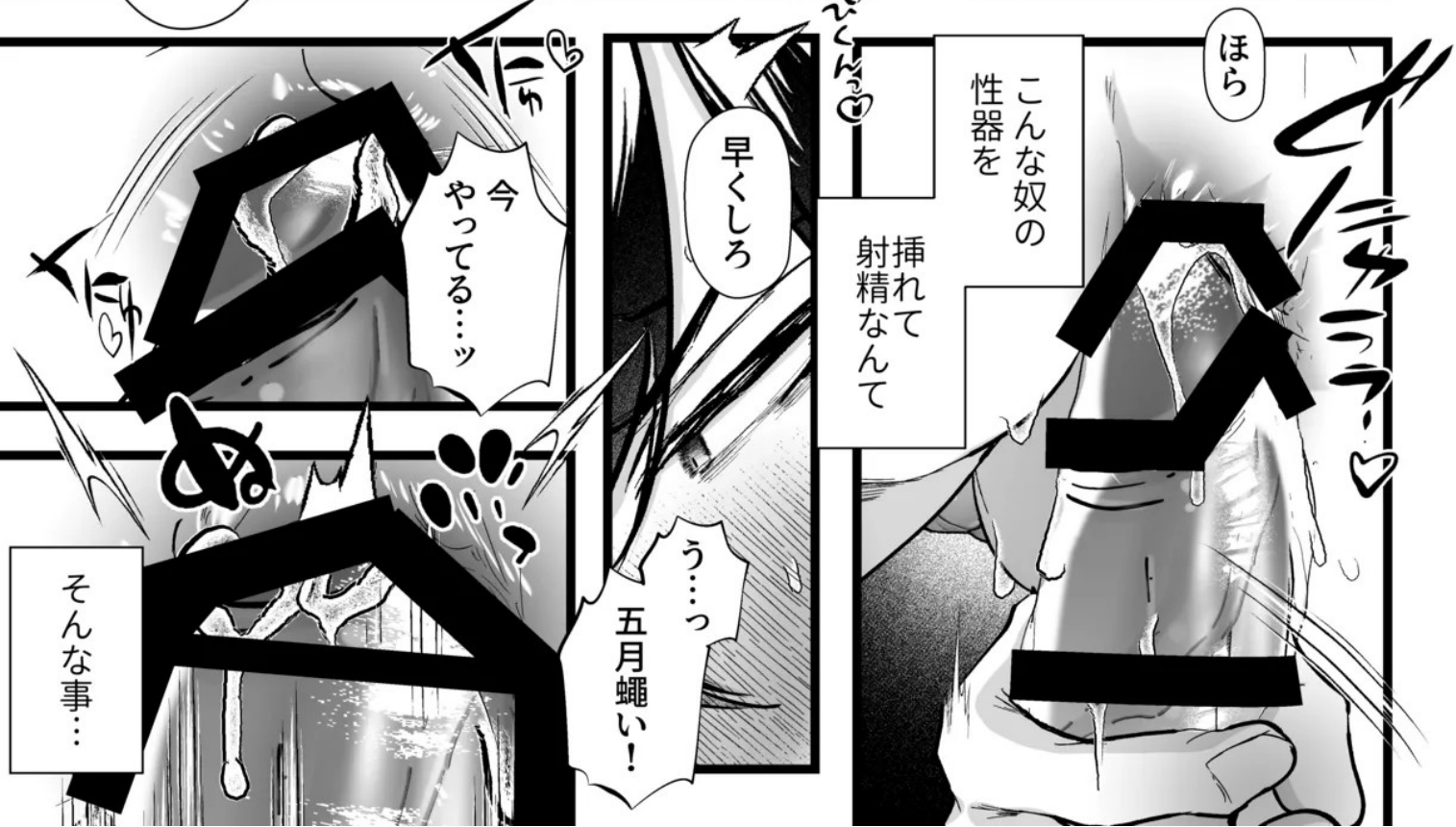

お前
本国に帰って
家族に会いたいとか
さっき言っていたな？
そこまで言うなら
チャンスをやろう


乗れ
は…？
お前が
イかなければ
自由にしてやる
俺の権力を使い
国に帰してやろう


勿論洗脳状態が
解けた今
敵国の
憎き雄との
げ…っ
ケツアナ交尾で
イき散らかす
なんて事
ある訳無いよな
外道が…


その言葉…
嘘ではないだろうな…？
まさか


俺は嘘はつかないさ
……
絶対に取り消すなよ


ほら
こんな奴の性器を
挿れて射精なんて
早くしろ
今やってる…ッ
う…っ
五月蠅い！
そんな事…


する訳
無いじゃないか…ッ！
…まだ即イキする程馴染んではないか
ギュッ
みち
みち
おい
所でこれが何だか分かるか？
ぴらぴら
家族だ…！
俺の…
そう。大事な大事なお前の家族


生涯を共にする
愛を誓った妻と
愛の結晶である
その娘
過酷な戦地での
唯一の心の拠り処
そんな大事な
家族の写真を
何を……ッ
憎き敵国の
貴族の男の上で
な…ッ
こいつ…っ
ギョッ
貴様…ッ
腰を振った
末に
精液で汚す
なーんて事
この
下種野郎め…ッ
ピクン
当たり
前だ…！
ある訳無い
そうだよな？


こんな男に……
言った矢先にカウパーを巻き散らせているじゃないか
ふー…♡
だ…ッ黙れ…ッ
ふー…♡ッ
俺は…ッ
ボタ
ボタ
負けない…ッ！
どうした
やめてほしいのか？
ぶるん
ぶるん
ぶるん
ぶるん
ぶるん


大事な写真だもんなぁ！
本当にやめて欲しかったらこう言えッ！
ご主人様♡
おちんぽぐりぐり気持ち良すぎてダメです♡
ってな
そ…
そんな下劣な言葉…ッ！
誰が口にするか…ッ！
ぴくんっ♡
とろっ
ぴくんっ♡
早く言わないと
こうなったら…
ご…
お前の大事な家族の写真がどんどん汚れていくぞ
ご主人様…

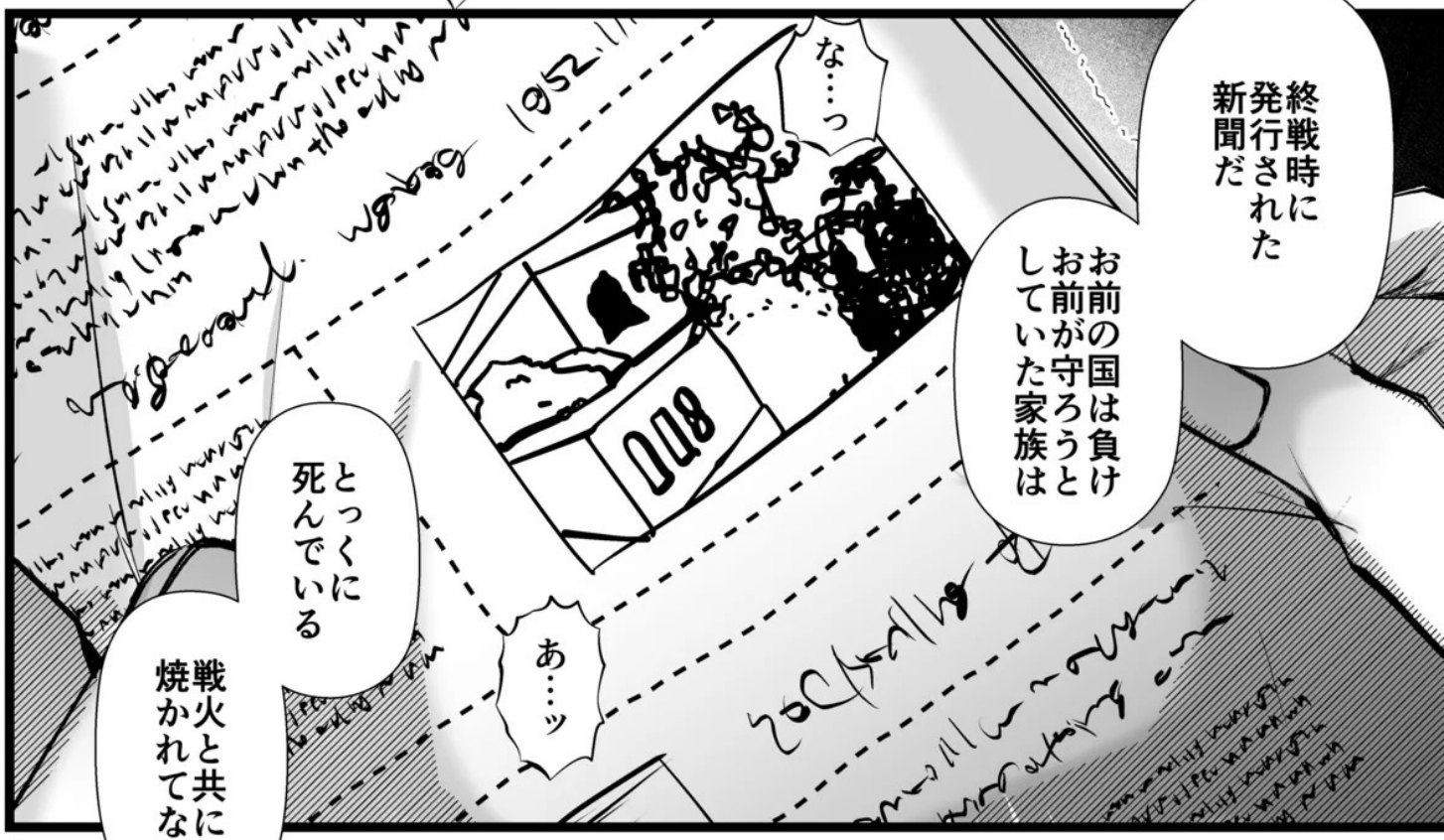

おちんぽ…ッ♡
おちんぽぐりぐり…
ダメ…です…ッ
はッ
はッ
……ッはははッ！
ンッ♡
何だよ！
やめてほしいと口では言っていても
そんな…ッ
ご主人様…
嘘だ…ッ
おちんぽぐりぐり…
自分から腰を振って居るじゃないか！
潔く認めろ
身体が勝手に動いて
このまま…
口では高貴な事を言っても
身体はもう戻れない


お前はもう
戻る事は
出来ないんだよ
やめ
あ
おおおお!!
イく……ッ
ビクビク
ギュ
きゅうッ
ヒクッ♡
ヒクッ♡
ヒクッ♡


出してしまったなぁ
お前の最後の家族の写真
ドロォ…
お前と家族が生きた最後の証拠だったのに


ぴらっ
これを見ろ


どういう事だ…
嘘だ…！
そんな事で俺の心をへし折ろうなんて…ッ


終戦時に発行された新聞だ
お前の国は負けお前が守ろうとしていた家族は
な…っ
あ…ッ
とっくに死んでいる
戦火と共に焼かれてな


そんな…
国が…
俺の村が…
これでわかっただろう


俺が守ろうとしていた物
帰りたかった場所は
とうに
雄メイドとして幸せに暮らす
それがお前にとって
真実であり
幸福でもあると
存在などしていなかったんだ…


俺が言ったことを繰り返せ
私はご主人様専用のオナホメイドになります
と
俺は…
ナデ
ナデ
どうしたら…
……
私は…
何だろう
ご主人さま専用の…ッ
すっ
口にする度に
ちゅっ
オナホメイドに
薄れていく
なり…ます…
ちゅぷっ
不思議と段々辛い気持ちが


その代わり
脳を満たしていく
ふわふわとした
多幸感
わ…ッ
私は…♡
御主人様
専用…っ♡
心地よい
安心感
そうだ
俺は
ご主人様の
オナホメイド
として
あっ♡
ご主人様
だけ…
の…ッ♡
あぁっ♡
生きて
いけば
大丈夫


それがこれからの
オナホメイドに♡
なります♡♡♡
俺の人生なんだ
ビクッ
ビクビクッ
ビクッ
ビクッ

○ほてく。

メイド



・軍人（大体30才くらい）
妻とはおみあいけっこん。娘は7才
メイドやってる間に国は亡びて、住んでた村も全焼

ご主人様



○国の軍事産業に大金をふしてる。きでく。
国とズブズブなだけで軍のえらい人じゃない。
顔が気に入ったから、ペット買うきもちで
買った。

（ミリタリーにわかなのでつっこまないでくれよな）


今帰ったぞ
お帰りなさいませ
ご主人様
ジャラン
おお
新たな装いも良く似合っているじゃないか
お褒め頂き光栄です
私もとても気に入っております
チリン
とても妻子持ちの軍人だった
男とは思えぬ出で立ちだな
当然です


ムクッ
それは
もう捨てた過去
ふー…
だって
私は今
ふー…
むにゅ
ご主事専用の
オナホメイドですからね
むちゅ♡
ヒクッ♡
ヒクッ♡
むちゅ♡



軍人メイドの正しい躾け方。

発行者:藤咲ふじこ
発行:FZ:
特別協力:梵-BON-(BON_BisexuaL)
発行年月日:2024/12/29
連絡先:fuzinamako@gmail.com
印刷所名:ラック出版様
Twitter(えっくす):FZ0628